

福島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	技術者倫理		
科目基礎情報							
科目番号	0001		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	講義・演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	コミュニケーション情報学科 (H31年度開講分まで)		対象学年	5			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	技術者倫理、松島隆裕、学術図書出版社；近現代の日本文化、新保哲、北樹出版						
担当教員	笠井 哲						
到達目標							
①技術者倫理 (含ビジネス倫理) の基礎を理解することができる。 ②事例に関するグループディスカッションを通して、倫理的な判断力を身につけることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1		各授業項目の内容を理解し、応用できる。	各授業項目の内容を理解している。	各授業項目の内容を理解していない。			
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (A)							
教育方法等							
概要	科学技術の歴史と技術者倫理 (ビジネス倫理) の基本を学び、事例研究で倫理的判断を学習する。						
授業の進め方・方法							
注意点	グループディスカッションは、いわばロールプレイであるが、実際に自分の問題であると考え、積極的に参加すること。定期試験の成績を70%、グループディスカッションへの参加状況及びレポートを30%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	17世紀科学革命とは何か	科学革命と近代科学の誕生			
		2週	ベーコンとデカルト	近代哲学と科学技術			
		3週	産業革命と資本主義社会	近代職業倫理と資本主義の精神			
		4週	ものづくりと職人の技	技術と技能、技術の伝来			
		5週	世界大戦と科学技術	化学兵器と原子爆弾			
		6週	資本主義国と発展途上国	人口の爆発、南北格差			
		7週	米ソ冷戦時代の科学技術	核とコンピュータの開発			
		8週	豊かな生活と環境への負荷	自然権思想、宇宙船地球号			
	4thQ	9週	新しい倫理の課題	ビジネス倫理と技術者倫理			
		10週	何のための科学技術か	地球生体のための科学技術			
		11週	倫理綱領ないし倫理規定	倫理綱領の内容と意義			
		12週	テクノロジーアセスメント	リスクアセスメント			
		13週	近現代日本の科学技術思想	福沢諭吉、三木清の技術哲学			
		14週	説明責任とPL法	安全性に関する法的・倫理的責任			
		15週	まとめ	専門職業人の使命			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	取組状況・レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0